

# 聖日蓮門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会  
〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話(03)3751-7181

平成12年8月1日  
第22号

## 祝 門連結成四十周年 全門連身延理事会開催さる



祖廟参詣・全門連身延理事会（平成12年5月30日）

平成十四年、我々日蓮聖人門下では開宗七五〇年を迎える。ますます混迷する現代社会の中で、我々は何をなすべきか。各門流教団で様々な企画が進行中である。後世のためにも、門下総力を挙げて今この時代に爪の跡を残し祖恩報謝に勤めよう。

平成十二年五月三十日（火）日蓮宗総本山身延山久遠寺（藤井日光法主）で、「祖廟参詣・全門連身延理事会」が開催され、全門連顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長ら、計十九名が参加した。午前十一時四十分、小雨の中常唱殿前より唱題行列にて御草庵跡へ進み、玄題三唱。次いで祖廟に於いて

渡邊理事長導師にて法味言上。特に本年は門下連合会結成四十周年の嘉辰を迎えることから、本会結成より本日に至る間に御遷化された先師先哲の増円妙道、報恩謝徳、並びに会連隆昌、宗祖立教開宗七百五十年慶讃円成を祈念した。その後、記念写真を常唱殿前で撮影。続いて久遠寺に登り大本堂祖師堂にて法味言上。新書

### 就任にあたって

日蓮聖人門下  
連合会理事長 渡邊清明



今般、日蓮聖人門下連合会各派教団より、御推挙を賜りまして理事長の重責を担うこととなりました。今更申し上げる迄もなく門下連合会は、昭和三十五年日蓮聖人門下懇話会として発足以来、本年四十周年を迎えることとなりました。この間の足跡をたずねる時、その責務の重さをあらためて感ずる次第であります。特にその発足の淵源を辿れば、日蓮聖人が立正安国論を上書され

てから七百年に当たる昭和三十四年に、日蓮聖人門下が東京神田の共立講堂に集い「立正安国論献讃七百年記念中央大会」を開催したことに始まります。そこに発した各派教団の熱き想いが時を置くことなく連合会結成へと至ったのであります。日蓮聖人が教示されました一天四海・皆帰妙法の祖願達成に向けて門下の大同団結がなされました事は、我々日蓮門下にとりましてまさに歴史的な一歩と申せましょう。

爾来四十年「日蓮聖人御降誕七五〇年慶讃」そして「日蓮聖人第七〇〇遠忌」を中心として共同事業を展開してまいりました。特に七〇〇遠忌の記念事業として行われました日蓮聖人展「日蓮聖人劇・オラトリオ日蓮聖人・青年の船の四大事業の実施は私共の記憶にも新しいところでありました。その後「門連だより」の刊行、門下連合会結成三十周年記念誌の発行等の事業を経た今日、二年後の平成十四年には、立教開宗七五〇年の聖年を迎えようとしております。

この数年門連としての共同事業はなされておませんが、今一度結成当初の熱き気運に思いを至し、祖願達成に向けて、新世紀の扉を開け邁進してまいりましょう。

### 從地湧出

◆先日、小学校三年生になる子供の同級生の父親が急逝した。三十七歳、三人の子供を残しての突然死であった。「諸行無常・老少不定」という言葉は、頭の中では理解しているつもりでも、いざ突然の悲報に接しては、ただ戸惑うばかりであった。

◆誕生が人生の幕開け、死が閉幕とするならば、閉幕の時には、周りの人から惜しまれながらの幕引きでありたい。それには舞台の上で、いかに人間らしく演じられるかが問題ではないであらうか。

◆左記の遺書は、日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落した事故現場から発見されたものである。マリコ、津慶、知代子、どうか仲良く、がんばって、ママを助けてください。パパは本当に残念だ。きつと助かるまい。原因は分からない。どうか神様、たすけて下さい。きのうみんなと食事したのは最後とは、何か機内で、爆発したような形で、煙が出て降下した。どこでどうなるのか、津慶、しつかりたのんだ。ママこんな事になるとは残念だ。さようなら。子供の達のことをよろしくたのむ。今六時半だ。飛行機はまわりながら急速に降下中だ。本当に今までは、幸せな人生だった。と感謝している。

◆迫り来る死の恐怖と闘いながら、家族に感謝の言葉を遺して散って逝ったこの男性は、素晴らしい人生を送り、不幸な事ながら素晴らしい幕引きであったのではないだろうか。

◆花は咲き、必ず散る。だからこそ、人は花を美しく思う。同様に人間は必ず死ぬ。しかし死があるからこそ、限りある生もまた輝くものである。素晴らしい幕引きのために、輝く人生を送りたいものである。

院にて昼食を摂り休憩後、随時宝物館を参観。午後二時より身延山大学会議室に於いて理事会を開催。会議に先立ち、去る五月八日に開催された常任理事会にて、渡邊清明日蓮宗宗務総長が門連理事長に推挙された旨報告がなされ、規約に則り当理事会にて推薦、承認された。渡邊新理事長より挨拶、出席者各自自己紹介後、渡邊理事長座長となり議題に沿って議事を進行。事務局より、平成十一年度事業報告がなされ、「理事会・常任理事会・門連だより」それぞれの開催日、人事の件（五面・門連時報参照）、祖廟輪番奉仕（国柱会が三十五回目的奉仕）等について報告、了承された。

次に、平成十一年度決算について事務局より詳細報告の後、持田監査より、去る五月八日に行われた監査報告があり、承認された。又、平成十二年度予算案については、平成十二年度事業計画案と併せて検討を行った結果、事務局原案どおり承認された。

続いて地方門連活動に関する報告として、大阪門下懇話会を代表して藤村恵容師が、平成十二年度事業計画案について、  
①合同御会式  
②研修会

「門連だより」の継続発展のため各派の「協力を切にお願いします。本紙に対する感想要望など、ぜひお寄せください。」  
「日蓮聖人門連だより」編集委員会

# ポスト750 宗門布教の方向性

# 護法から伝道へ



日蓮宗護法伝道部長  
田端 義宏

## 慶讃会の組織

平成九年五月二十八日、横浜アリーナに全国一万二千の僧俗を集めて開催された「日蓮聖人立教開宗七百五十年慶讃中央大会」発願のついでに、以来日蓮宗は、ご正当年を二年後に数々の慶讃事業円成に向け、挙宗態勢で取り組んでいる。

宗門挙げての慶讃事業を推進するに当たり、宗務院に「慶讃会本部」を設置。総裁に日蓮宗管長、会長に宗務総長が就任。宗務顧問、参与を相談役とし、事務局長の下に、事業課長・勸財経理課長・囑託、そして事務局員数人を配し、事業推進の実務を担当する事務局を配置。また全国七十四宗務所を「慶讃会支部」とし、支部長には宗務所長が、副支部長に宗務・護法の両事務局長がその任に付き、その下に全国の教師、そして檀信徒が所属。組織上は、管長から檀信徒までを網羅した、まさに挙宗一

## 事業計画と予算

慶讃事業は、左記十一項目である。一、慶讃法要の奉行  
①正当年四月、清澄寺での慶讃大法要  
②正当翌年、身延での結願大法要  
二、記念式典並びに記念大会の開催  
①正当年、清澄寺研修会館での式典  
②中央・教区・管区での大会  
三、特別布教の展開  
①慶讃特派布教師、慶讃布教師による特別布教の推進  
②管区単位による清澄寺団参の実施  
③全国唱題行脚の実施  
④巻千万お題目写経の実施  
四、日蓮宗総合庁舎の建設  
五、清澄寺研修会館の建設並びに旭ヶ森の整備

## 慶讃事業の現状

さて前述の組織と態勢のもとに出発した慶讃会であるが、ここでその事業活動の状況を点検してみたい。

原稿をこのことだが、宗教布教の全体を論ずるには余りにも広範囲で、論点が散漫になり、しかも紙面の都合もある。現在進行中の立教開宗七五〇年慶讃事業を一つの切り口として、そこから宗門布教の現状とその課題、そして未来の布教のあるべき姿を探ってみようと思う。

## 事業活動の点検

未だ事業半ばの段階で、その活動を反省するのは早すぎるという誘いを承知の上で、あえて慶讃事業に取り組む宗門の現状を点検し、そこから宗門の布教の問題点と今後の方向を探ってみようと思う。

展開という事業である。②の慶讃団参は順調に進行中で、③の唱題行脚も全国日蓮宗青年会を中心に検討が進められている。問題は、①の特別布教と、④の巻千万お題目写経である。当初実行委員会や教宣部会で考えたような成果が挙げられず、関係者をよきまきさせている。

致態勢で臨んだ。加えて、慶讃事業の企画推進に関しての検討・協議を行なう機関として、慶讃会会長である宗務総長を委員長に、宗務役員・宗会議員・宗務所長・学識経験者・檀信徒の各層から、会長が任命・委嘱した五十名の委員による実行委員会を組織。委員会は、常任委員のもとに、教宣部会・事業部会・勸財部会・特別部会の四つの部会を組織し、それぞれの分野で討議を行ない、事業の企画推進に当たった。

先ず、事業に取り組む態勢としては、宗門の行政組織を充分活用。組織的には万全の態勢だったと思う。ただ宗門内にその組織を持ち、現に活動を行なっている布教師会・修法師会・声明師会・社会教師会・四会、そして全国日蓮宗青年会といった諸団体に、事業の企画や検討の段階で参加してもらい、もつと意見や考えを述べる機会を作らねばならぬ。そのためか諸団体に横の連携がないように思う。

調な反面、慶讃布教やお題目写経運動が低迷という現状。このことから考えられるのは、ハード面が良いが布教のソフト面が弱いという状況がわかる。大会の開催といったような、ある種のマニュアルや指示通りに活動することに限っては、かなりの成果や実績を挙げている。しかし慶讃布教のように、マニュアルのない活動に対しては意外に弱いという、宗門の体質が感じられる。教宣部門の活動が低迷する理由の一つには、護法伝道部が中心になって進めてきた、一期六年三期十八年という「お題目総弘通運動」との組織上のかねあいに一因があるように思う。これまでも長期計画で行なってきた総弘通運動の力が、慶讃事業が始まった途端、二分されてしまったらしい。慶讃事業における教宣活動と、従来の伝道活動との整合性と組織の二重構造に問題はないか。

## 今後の方向性

以上、現在行なわれている慶讃事業から、日蓮宗の布教の現状と問題点を述べた。その反省に立って今後の宗門布教の方向性を推測すると、「護法教団から伝道教団へ」「寺内活動から社会活動へ」「宗内活動から宗外活動へ」「檀信徒教化から未信徒教化へ」といった活動の必要性を痛感する。

社会に必要とされる宗門となるための「お題目の社会化」、そして現代の寺子屋運動、駆け込み寺運動といった寺院・教師の社会教化活動こそが、今後の宗門の伝道布教活動の方向性である。そしてそうした伝道活動を行なう「機構の改革」と、その宗門の最大急務といえよう。

## 日蓮宗新聞社の本

表示の価格は本体価格です／送料実費

仏跡ガイドブック  
法華経を手にブツダの故郷へ  
三友量順著／B6判 本体 一五〇〇円  
お釈迦さまの生涯にそってインドの八大仏跡をたずねる旅案内。図版一八〇点、仏跡地図付。

さだるま新書 No14

ブツダの国の法華経  
三友量順著／新書判 本体 八二〇円  
法華経二十八品それぞれを、お釈迦さまの生きた時代の視点で故事を交えながら読む好著。

さだるま新書 No13  
法華経講義 上・下巻  
勝呂信静著／新書判 各 八二六円(本体)

妙法蓮華経写経セット  
方便品／寿量品(偈)／神力品(偈)／普門品(観音偈)  
▼手引書・用紙セット・紙野付 三八〇〇円(本体)

一部経 <法華経八巻二十八品>  
八寸本 三八〇〇円／六寸本 三三〇〇円  
乾坤二巻本 二〇〇〇円／巻子本 五〇〇〇円

要品 <法華経の主要な経文> 五〇〇〇円

●お申込みは電話か葉書で当社まで

※代金は商品と一緒に振込用紙を同封しますのでお近くの郵便局か銀行口座へお振込ください。

〒一四六〇〇八二 東京都大田区池上七二二三一三  
電話 〇三―三三三―五五五―五二七―  
FAX 〇三―三三三―五五五―二二八

# 残暑御見舞

## 平成十二年庚辰

### 日蓮聖人門下連合会



(平成十二年七月現在)

## 日蓮宗宗務院

管 長 藤井 日光  
 宗務総長 渡邊 清明  
 宗務副総長 加賀美泰全  
 総合企画部長 篠原 智高  
 庶務部長 垣本 孝精  
 財務部長 野坂 法雄  
 教務部長 中里 観正

日蓮宗本部 田端 義宏  
 立正安国寺本部 田澤 元泰  
 日蓮宗本部 石川 浩徳  
 国際開教部長 川名 義顕  
 人権対策部長 藤崎 一明  
 参 与 堀江 宏正  
 参 与 浅井 玄裕  
 日蓮宗本部 菊池 泰瑞

〒146-8544 東京都大田区池上1-1-1  
 池上本門寺朗峰会館内日蓮宗宗務院仮庁舎  
 電話 〇三(三七五)七七八(代)  
 FAX 〇三(三七五)七一八六

## 法華宗(本門流)宗務院

管 長 片山 日楽  
 宗務総長 原 井 慈鳳  
 教化部長 圓 成 淳龍  
 教学部長 桃 井 晋城  
 財務部長 坂 卷 顕導  
 庶務部長 矢 吹 慈英

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-1-26  
 電話 〇三(三九一)四七五(代)  
 FAX 〇三(三九一)七九九四

## 顕本法華宗宗務院

管 長 吉永 日晴  
 宗務総長 中村 通義  
 宗務次長 渡辺 昭夫  
 財務部長 藤崎 行学  
 教務部長 大森 俊栄  
 社会部長 大塚 正純

日蓮宗本部 早川 義正  
 庶務部長 島田 幸晴  
 主 事 多門 顕正  
 主 事 津村 乘信  
 主 事 飯沢 道安  
 主 事 小松 正学

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
 電話 〇七五(七九二)七一一  
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

## 法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木 木 日艸  
 宗務総長 土屋 善敬  
 総務部長 佐 古 弘文  
 教学部長 門 谷 東生  
 財務部長 八 木 恵岳  
 教化部長 佐 古 大弦

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-1-35  
 電話 〇三(三九一)七二九〇  
 FAX 〇三(三九一)七二九〇

## 本門佛立宗宗務本庁

管 長 野崎 日丞  
 専 門 梶 本 日裔  
 専 門 井 上 日慶  
 宗務総長 小 山 日誠  
 宗務副総長 笹 田 日昌  
 宗務副総長 佐 藤 政司

宗務本庁役員一同

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地  
 電話 〇七五(四六一)一五六(代)  
 FAX 〇七五(四六一)五五九九

## 日蓮本宗宗務院

管 長 嘉儀 日有  
 宗務総長 高 見 正弘  
 総務部長 佐 藤 哲夫  
 財務部長 岩 崎 隆義  
 法務部長 岩 崎 広義

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八  
 電話 〇七五(七七二)三三九〇  
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

## 法華宗(真門流)宗務庁

管 長 吉田 日襄  
 宗務総長 齋 藤 隆彦  
 宗務部長 上 田 浩岳  
 総務部長 辻 本 寛孝  
 教学部長 水 野 智啓  
 教化部長 堀 野 智泰  
 財務部長 木 村 完祥  
 社会部長 本 多 信正  
 主 事 足 立 真正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
 電話 〇七五(四四二)五七六二  
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

## 本門法華宗宗務院

管 長 杉 本 日慈  
 宗務総長 高 邊 允忠  
 宗務部長 信 隆 雄  
 財務部長 増 田 隆雄  
 総務部長 藤 井 宏長  
 庶務部長 土 井 信教  
 教務部長 音 羽 隆全  
 門連兼任理事 持 地 光学

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東大妙蓮寺前町八七五  
 妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七  
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

## 宗教法人 国柱会

会 長 田 中 暉丘  
 理 事 長 大 橋 邦正  
 門連理事 秋 場 善彌  
 門連理事 淀 野 寿夫

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八  
 電話 〇三(三五六)七一(代)  
 FAX 〇三(三五六)九九八〇

## 京都日蓮聖人門下連合会

会 長 杉 本 日慈  
 副 会 長 金 山 日龍  
 理 事 長 飯 田 信栄  
 副 理 事 長 杉 若 惠隆

京門連事務局  
 〒602-8418 京都市上京区妙蓮寺前町八七五  
 大本山妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七

## 日本山妙法寺大僧伽

首 座 塙 行 幸  
 長 老 石 山 定 光  
 長 老 吉 田 行 典  
 長 老 酒 井 天 信  
 長 老 今 井 行 康  
 長 老 西 堀 行 施  
 長 老 二 宮 行 嘉  
 長 老 老 井 行 順

日本山妙法寺大僧伽事務局  
 〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七一番地  
 電話 〇四(二三八)三三九五  
 FAX 〇四(二三八)〇七四四



# 舞見御暑残

## 平成十二年庚辰

(平成12年7月現在)

<p>日蓮宗総本山 <b>身延山久遠寺</b></p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六六(二)一〇一一 FAX 〇五五六六(二)一〇九四</p> <p>法主 藤井日光 総務 伊藤通明 役員 一同</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池上本門寺</b></p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三三七五(二)三三三一 FAX 〇三三七五(二)三三五〇</p> <p>首吉 永日晴 総務 大川定信 事務 山本見道 執事 津村乗信 執事 小林正学 執事 林松孝瑞 執事 前田成朋</p>	<p>顕本法華宗総本山 <b>妙満寺</b></p> <p>〒606-0015 京都市京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九)二七一七一 FAX 〇七五(七九)二七二六七</p> <p>首吉 永日晴 総務 大川定信 事務 山本見道 執事 津村乗信 執事 小林正学 執事 林松孝瑞 執事 前田成朋</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本成寺</b></p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p> <p>首吉 永日晴 総務 大川定信 事務 山本見道 執事 津村乗信 執事 小林正学 執事 林松孝瑞 執事 前田成朋</p>
<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本隆寺</b></p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四)二五七六二 FAX 〇七五(四四)二五六六六</p> <p>首吉 永日晴 総務 大川定信 事務 山本見道 執事 津村乗信 執事 小林正学 執事 林松孝瑞 執事 前田成朋</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙蓮寺</b></p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五)一三五二七 FAX 〇七五(四五)一三五九七</p> <p>首杉 本日慈 総務 飯田信栄 役員 一同</p>	<p>日蓮本宗 <b>本山要法寺</b></p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七)三三三九〇 FAX 〇七五(七七)五九一四</p> <p>首嘉 儀日有 大学 頭丹治日遠 執事 高見正弘 執事 岩崎広義</p>	<p>本門佛立宗本山 <b>宥清寺</b></p> <p>〒606-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話 〇七五(四六)三二四六二〇(代) FAX 〇七五(四六)三二四六五一</p> <p>住三世 野崎日丞 執事 佐々木日調 事務局長 伊藤隆之</p>
<p>立教開宗之霊地 出家得度之霊地</p> <p>日蓮宗大本山 <b>清澄寺</b></p> <p>立教開宗七五〇年慶讃団参奉行</p> <p>〒299-5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄 電話 〇四七〇(九四)〇五二五 FAX 〇四七〇(九四)〇五二七</p> <p>別当 奥邨日鳳</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>妙顕寺</b></p> <p>〒606-0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話 〇七五(四五)一三五二七 FAX 〇七五(四五)一三五九七</p> <p>首山 田一光 総務 原光司</p>	<p>初転法輪 鎌倉開教七百五十年霊地</p> <p>日蓮宗本山 <b>妙本寺</b></p> <p>比企谷</p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一―一五一一 電話 〇四六七(二三)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> <p>首加 藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役員 一同</p>	<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 <b>富士山本門寺</b></p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五八)二五二七</p> <p>首本 間日諄 執事 井出教道</p>
<p>日蓮宗大本山 <b>法華経寺</b></p> <p>久遠成院日親上人御霊窟</p> <p>日蓮宗本山 <b>本法寺</b></p> <p>重文涅槃図長谷川等伯筆 名勝巴の庭本阿弥光悦作 境内諸堂悉く京都市府有形文化財指定</p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二―一―一 電話 〇四七(三三)四三三三</p> <p>首長 瀬日還 執事 渡辺貞観 事務 関智清 同 新井智順 同 広野智順 同 土田勝宏</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三(三三)三三三三 FAX 〇三(三三)三三三三</p> <p>山主 駒野日法</p>	<p>日蓮宗本山 <b>頂妙寺</b></p> <p>〒606-8376 京都市京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七)一〇五六二 FAX 〇七五(七七)一〇〇四</p> <p>首永 田恵遠 参事 山田完修 同 新井智清 同 安藤信行 執事 藤井照源 執事 二之部知孝 同 川合陽雄</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本成寺</b></p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p> <p>首吉 永日晴 総務 大川定信 事務 山本見道 執事 津村乗信 執事 小林正学 執事 林松孝瑞 執事 前田成朋</p>

# 門連時報

## 京都門連總會・宗祖降誕会

二月十六日十三時から大本山妙蓮寺(松本日望貫首)で總會が開催された。

十四時半から松本貫首祝下導師のもと、門下八本山の貫首祝下を始め、門連会員と参列者合わせて約百二十余名が、宗祖降誕会を厳修した。

十五時より、日蓮宗妙覚寺貫首、頂岳龍乘祝下の御法話。

「寿量品に」我本行菩薩道 所成寿

## 京都門連・開宗会

四月二十八日頂妙寺にて開宗会が厳肅に執り行われた。

十時半、大講堂で三木随法上人の



京都門連・開宗会

法話「法四依について」。「最近の七宗教の被害は、正しい法に依らず、いいかげんな教祖の言うことを鵜呑みにする信者たちの態度が原因である。我々は正法を奉じ、正行を行っていくましよう」と教えられた。

続いて大導師松本日望祝下、妙蓮寺派の式衆と日蓮宗雅楽会の伶倫出仕のもと、開宗会が厳修された。

客殿と延暦寺会館で昼食後、定光院に参拝。本堂前で報恩の経を誦し、香を薫じた。

その後大津市の「佐川美術館」と「鮎屋の郷」を観光した。

## 京都門下青年会 平成十二年度新役員決定

京都日蓮聖人門下青年会は平成十二年度総会を、太公で開催し、新幹事に藤井照源(日蓮宗)を選出した。総会には、各宗各派会員十五名が参加、平成十二年度活動計画が説明され、門下連合会の各行事参加を中心に、唱題行脚、勉強会、パレール大会、OBとの懇親会、研修会等が了承された。又、平成十二年

―藤井照源(日蓮宗)、副幹事長―山本見道(顕本法華宗)、副幹事長―梅本光祥(日蓮宗)、会計―奥山文章(日蓮宗)、庶務―川合陽雄(日蓮宗)、庶務―有田秀達(法華宗本門流)、幹事

―二之部知孝(日蓮宗) 幹事―真枝真光(法華宗真門流) 幹事―阿南光節(本門法華宗、幹事―嘉儀吉裕(日蓮宗) 連本宗)

## 法華宗陣門流管長に就任して

鈴木 日晷



このたび、竹嶋日香祝下任期満了によるご退山のお受け、因らざるも不肖私が後任の大役をお受けすることになり、去る六月二十一日総本山本成寺の法燈を継承させて頂きました。

自らの浅学不徳を省みて躊躇いたしましたが、永年ご指導を賜りました多くの先輩諸師、ならびにお世話になりましたご本山の檀信徒の皆さまの恩顧に報いるために、宗門に

## 立教開宗七百五十年 事業骨子まとまる

京都門青として七五〇事業について、プロジェクトチームが結成され検討の結果、六月三十日の臨時総会にて骨子が了承された。とらえ方として、一、門青として七五〇をどうとらえていくか、二、門青が誕生するまでの状況、門青の出発点、門青の歴史をしっかりと踏まえる、三、近年の門青の状況を把握し、今後の課題は何かを考えて行く、の三点を

▼人事(事務局への連絡日も含む)

年月日	氏名	宗派(役職)	門連役職	就任	退任
平二・五二・八	真枝日世師	法華宗真門流管長	顧問	就任	退任
九・九	吉田研宏師	法華宗真門流管長	顧問	就任	退任
	齋藤隆彦師	法華宗真門流管長	顧問	就任	退任
	金山日龍師	京都門下連合会会長	常任理事	就任	退任
	松本日望師	京都門下連合会会長	常任理事	就任	退任
	杉若恵隆師	京都門下連合会理事	常任理事	就任	退任
	飯田信栄師	京都門下連合会理事	常任理事	就任	退任
	桃井晋城師	京都門下連合会副理事長	理事	就任	退任
	杉若恵隆師	京都門下連合会副理事長	理事	就任	退任
	都筑哲信師	法華宗陣門流	理事	就任	退任
	門谷東生師	法華宗陣門流	理事	就任	退任
	木下恵温師	大阪日蓮聖人門下懇話会	理事	就任	退任
	藤村恵容師	大阪日蓮聖人門下懇話会	理事	就任	退任

し入れております。

この混迷の社会情勢の中に明後年は、宗祖大聖人立教開宗七百五十年の記念すべき年を迎えようとしています。これを契機として、私達は特に布教面に活動を展開することが必要だと思っております。

もし今、私達がただ手を拱いているならば、この遭い難き開宗の記念の年は、何もいわずにやって来ますが、また何もいわずに去ってしまうでしょう。

宗祖のご鴻恩に報いる為に、何をすれば有意義にこの年を迎えこの年を送ることができるか、それを決める時が今ではないでしょうか。

四、誓願法要として、身延御廟所参拝を平成十三年度中に行う

五、門青のシンボルマークを考える

六、門青の題目旗を作成する

七、その他として、年間行事の積み重ね及び、団参・写経・インターネット・門連だよりの活用が報告された

承された。この企画は平成十二年度から平成十四年度の三ヶ年計画で進め、事業予算は四百万円。

## 新刊紹介

「四条金吾の妻」

大橋富士子著 (九月発行)

著者は「私たちの法華経」『宮沢賢治まことの愛』などの著者で国柱会講師。本書の主題となるのは、日蓮聖人の代表的門下四条金吾夫妻、その妻の信仰をめぐり正信にめぐめて聖人の病患から、身延、池上、御入滅に至るまで、給仕第一の誠をつくした金吾の妻の、心に映じた湯仰恋慕の情をたどるもの。その内容は、一、内船で、二、鎌倉へ、三、竜口法難回想、四、池上へ、五、最後の講話、六、佐渡と身延の思い出、七、御涅槃の七章からなり、必要な御遺文を忠実に引用し、わかりやすい解説を交え、金吾の妻の心に映じた情景描写が生きて生きと胸を打つ。数少ない女性性の立場からのユニークな伝記。信仰教化に最適の好著。

B六判・上製箱入 予価二、五〇〇円(税込) 発行 真世界社

電話〇三三三六六七一〇  
FAX〇三三三六六六一九九八〇

積尊のふるさと  
**インド仏壇めぐりは**  
**近畿日本ツーリストへ**

近畿日本ツーリスト(株) 宗教法人担当支店

東京 東京団体旅行支店 〒101-0052 千代田区神田小川町2-2  
Tel 03-3233-0015 Fax 03-3233-1674

京都 京都支店 〒604-8005 京都市中京区河原町通三条上ル  
Tel 075-221-7401 Fax 075-223-5192

インド国内コーディネーターは

近畿日本ツーリスト(株)公認代理店

インディアナトラベルジャパン

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目25-14 Tel 03-5689-8161 Fax 03-5689-8118



# India

Government of India  
Tourist Office



7th August, 2000

One can visit India any time of the year as there will always be a perfect destination for the particular season. A country of great diversity, different cultures interspersed in mountains, deserts, wildlife sanctuaries, and sea. I take this opportunity of inviting you to our country. I am sure, you will be in safe hand travelling with M/S Kinki Nippon Tourist Co., Ltd.



(P. Sivakami)  
Regional Director

一年中どの季節に訪れてもインドはそれぞれの季節の素晴らしい面をもって皆様を迎えてくれます。多様な文化、点在する山、砂漠、野生動物保護区、海などインドは多面性をもった国です。この機会に私は是非皆様をインドにお招きしたいと思っております。近畿日本ツーリスト(株)のツアーで安全で快適な旅をお過ごしいただけることと思っております。

インド政府観光局長  
Pシバカミ



**法華宗真門流**

2月18日教区  
所長会議・布教  
師会を開催。本年度各教区の活動計  
画書の報告、布教計画を作成。  
4月8日より27日まで、真門学林  
(春季) が開講。  
4月11日より三日間、総本山本隆  
時千部会厳修される。  
第一教区(田中良啓所長) 第二〇  
回檀信徒の集い(報恩の旅) 5月22  
日より三泊四日間、僧俗六十名が参  
加し、仏教伝来の地韓国を訪れた。  
6月21日、第十六回真門教学講習  
会開催。「宗法・宗憲及び伝統と教義」  
と題して宗学研究所所長、林日圓現  
下の講義、「雅楽と春日若宮おん祭」  
と題して、南都楽所楽頭、笠置侃一  
師の講義が行われた。

**法華宗陣門流**

去る5月21  
日、法華宗管長、  
本成寺八十五世竹嶋日香現下の任期  
満了による御退山式が総本山本成寺  
に於いて執り行われた。  
去る6月21日、鈴木日新新貫首現  
下が本山第八十六世として御入山さ  
れた。新貫首現下は静岡県静岡の別  
院本興寺で長年御山主を努められ、  
法華宗の学校である「学林」に於い  
ては、名誉教授として後進の指導に  
当たられていた。御入山式は、朝十  
一時の花火を合図に山門より行列を  
組み本堂へ入堂、本堂にて法楽一座

**法華宗本門流**

去る5月21  
日、法華宗管長、  
本成寺八十五世竹嶋日香現下の任期  
満了による御退山式が総本山本成寺  
に於いて執り行われた。  
去る6月21日、鈴木日新新貫首現  
下が本山第八十六世として御入山さ  
れた。新貫首現下は静岡県静岡の別  
院本興寺で長年御山主を努められ、  
法華宗の学校である「学林」に於い  
ては、名誉教授として後進の指導に  
当たられていた。御入山式は、朝十  
一時の花火を合図に山門より行列を  
組み本堂へ入堂、本堂にて法楽一座

**法華宗本門流**

去る5月21  
日、法華宗管長、  
本成寺八十五世竹嶋日香現下の任期  
満了による御退山式が総本山本成寺  
に於いて執り行われた。  
去る6月21日、鈴木日新新貫首現  
下が本山第八十六世として御入山さ  
れた。新貫首現下は静岡県静岡の別  
院本興寺で長年御山主を努められ、  
法華宗の学校である「学林」に於い  
ては、名誉教授として後進の指導に  
当たられていた。御入山式は、朝十  
一時の花火を合図に山門より行列を  
組み本堂へ入堂、本堂にて法楽一座

**法華宗本門流**

去る5月21  
日、法華宗管長、  
本成寺八十五世竹嶋日香現下の任期  
満了による御退山式が総本山本成寺  
に於いて執り行われた。  
去る6月21日、鈴木日新新貫首現  
下が本山第八十六世として御入山さ  
れた。新貫首現下は静岡県静岡の別  
院本興寺で長年御山主を努められ、  
法華宗の学校である「学林」に於い  
ては、名誉教授として後進の指導に  
当たられていた。御入山式は、朝十  
一時の花火を合図に山門より行列を  
組み本堂へ入堂、本堂にて法楽一座

**法華宗本門流**

去る5月21  
日、法華宗管長、  
本成寺八十五世竹嶋日香現下の任期  
満了による御退山式が総本山本成寺  
に於いて執り行われた。  
去る6月21日、鈴木日新新貫首現  
下が本山第八十六世として御入山さ  
れた。新貫首現下は静岡県静岡の別  
院本興寺で長年御山主を努められ、  
法華宗の学校である「学林」に於い  
ては、名誉教授として後進の指導に  
当たられていた。御入山式は、朝十  
一時の花火を合図に山門より行列を  
組み本堂へ入堂、本堂にて法楽一座

の後「着座の儀」次いで「法灯継承  
の儀」が行われ、本堂にあふれんば  
かりの檀信徒が見守る中、無事御入  
山式は終了した。  
総本山本成寺第八十一世田邊日伸  
現下が、去る5月24日御遷化された。  
世寿九十四歳であった。現下は東京  
谷中本通寺から総本山本成寺へと  
進みなられ、昭和60年に御退山さ  
れ、以来本通寺にて隠居されていた。  
密葬儀は5月28、29日、本通寺にて、  
御本葬は7月6日、7日に総本山本  
成寺に於いて執り行われた。

**本門法華宗**

第85回本門法  
華宗宗会は3月  
24日、京都全日空ホテルにて開催。宗  
門学院予決算等、第12号議案まで無  
事承認可決。飯田信栄大本山妙蓮寺  
執事長より、3月14日開催の本山役  
員会において、6月25日で任期満了  
の松本日望現下の後任として、杉本  
日慈現下が第百八世貫首に推戴され  
る報告。審議の結果、賛成多数をもつ  
て本門法華宗次期管長に推戴された。  
6月29日、大本山妙蓮寺では、松  
本日望現下退任される、退任報告法  
要が執り行なわれた。併せて、第百  
八世杉本日慈現下の法灯継承式が同  
時に執行された。法要終了後、全日  
空ホテルに於いて、宴席が設けられ、宗  
内寺院並びに、松本日望現下自坊(京  
市花園成願寺) 杉本現下(沼津市正  
見寺)の役員も参加した。杉本現下  
の晋山式は11月に奉行予定。  
本門法華宗学院では第93・94回教  
学講習会が大本山妙蓮寺講堂で、3  
月28・29日、6月14・15日が開催さ  
れた。

**本門佛立宗**

去る7月2日、  
本山・有清寺(京  
都)の御尊前に於いて、四年間にわ  
たる任期満了を迎えられた、佛立  
第二十二世講有・日慶上人より佛立  
第二十三世講有・日丞上人への講有  
位継承と本山・有清寺第五十五世住  
職を確定する「遺囑伝承の儀(いしよ  
くでんしよのぎ)」が、宗内要職教  
講役員及び日丞上人有縁の方々、本  
山信徒代表等の参列のもと、厳かに  
執り行われた。  
佛立教育専門学校創立五十周年を  
祝う記念行事(特別講演会と祝賀会)  
が、去る3月14日、京都全日空ホテ  
ルを会場に行われた。特別講演は御  
講有・日裔上人の「佛立の戦後五十  
年」というテーマで行われ、百六十  
余名の教務の参加があった。  
本山・有清寺の門祖会が、去る4  
月23日、計四座奉修された。特に第  
三座では、昨年中に奉安教化五個以  
上を成就した、全国各寺院の優秀教  
化者九十四名に表彰がされた。  
佛立青年教務会では、7月10日、  
12日に、洋上練成道場が実施された。  
旭ヶ森から百キロ沖の洋上より、昇  
る朝日のもと、上行所伝の御題目が  
口唱された。参加者は六十五師で  
あった。

**日蓮宗**

専任布教師・  
慶讃布教師を対  
象とした平成11年度中央講習会が2  
月17・18日、千葉県清澄寺研修会館  
で行われ、教師約七十人が参加した。  
講師に協同広告株式会社経営計画室  
長で取締役の石川哲也氏を迎えた。  
石川氏は「コミュニケーションのあ  
りかた」と題して講演し、広告をつ  
くる立場から、相手にどうしたら感  
動を与えられるか、広告業界の若者  
は人との触れ合いに欠けているため、  
その力が不足している」と指摘、人  
人との触れ合いの大切さを強調した。  
永井祥文宗務総長が任期満了にと  
もない退任、第八十二定期宗会次  
期宗務総長に選出された渡邊清明師  
は新内局の布陣を固め4月4日、渡  
邊新内局の認証式を東京・池上の宗  
務院で行った。新内局は二年後に  
迫った立教開宗七五〇慶讃事業の総  
仕上げを行うと同時に三期十八年に  
わたるお題目総弘通運動の最後の区  
切りに臨む。

**国柱会**

全国各地方連  
合同において研  
修会、儀典講習会、婦人の集いを開  
催。毎月第三日曜日、妙宗大靈廟例  
月供養会厳修。  
12月25日、大正天皇祭厳修。31日、  
福茶の会。送旧迎新年厳修。  
1月1日、明治神宮参拝、元旦大  
国持・新年拝賀式、神酒拝賀式厳修。  
7日、昭和天皇祭、武蔵野御陵清掃  
奉仕。15日、中央同志新年大会、田  
中陣丘会長より年頭法話。  
2月11日、紀元節慶讃法要厳修。15  
日、釈尊涅槃会慶讃法要厳修。16日、  
聖祖降誕会慶讃法要厳修。  
3月5日、婦人対象の申孝園の集  
い開催。20日、妙宗大靈廟春季彼  
岸大供養会厳修。  
4月2日、申孝園校まつり開催。8  
日、釈尊降誕会慶讃法要厳修。28日、  
立正会慶讃法要厳修。28日、29日、第  
三十六回身延大祖廟輪番給仕国柱会  
奉仕団、田中陣丘会長以下昼夜不断

**京都市門連**

1月21日理事  
会。平成12年度  
役員確認。会長 妙蓮寺貫首松本日  
望現下、副会長 本山法寺貫首金山  
日龍現下、理事長 妙蓮寺執事長飯  
田信栄師、副理事長 日蓮宗京都府  
第一本部宗務所長杉若忠隆師、事務局  
担当は、本門法華宗大本山妙蓮寺と  
決定。平成11年度決算報告。平成12  
年度予算案・会務事業計画。総会降  
誕会の件。  
2月16日総会・降誕会。平成12年  
役員確認紹介。平成11年度会務報  
告・決算承認。平成12年度会務事業  
計画・予算承認。降誕会 導師 松  
本日望現下。法話は妙覚寺貫首頂岳  
龍乘現下。  
3月6日理事会。開宗会・夏季大  
学の件。  
4月28日開宗会。法要・比叡山大  
講堂において奉行。導師 大本山妙  
蓮寺貫首松本日望現下。法話は三木  
随法師。  
5月20日理事会。夏季大学・御会  
式の件。  
6月26日大本山妙蓮寺で、松本日  
望現下から杉本日慈現下に貫首が交  
替し、京門連の会長職も引き継がれ  
た。  
今後の予定、8月26日本能寺会館  
において夏季大学、10月7日妙蓮寺  
において御会式がある。

**顕本法華宗**

2月23日、24  
日に於いて「第五十五定期宗会」が  
開催された。初めに管長推戴で吉永  
日晴現下が再任された。各決算・予  
算の審議等の後、宗門役職者の選任  
が行われた。内局員は次の通り。宗  
務総長、中村通義。宗務次長、渡辺  
昭夫。庶務部長、島田幸晴。社会部  
長、大塚正純。財務部長、藤崎行学。  
教務部長、大森俊栄。布教部長、早  
川義正。

3月30日、東京天妙国寺を会場に  
全国教務所長会議が開催された。  
5月13日、14日、総本山妙満寺に  
おいて、恒例の春季大法要が厳修さ  
れた。宗祖開祖報恩法要・全国檀信  
徒大施餓鬼法要他六座厳修。清興と  
して「さらら」の和太鼓演奏が花を  
添え、甘露の雨に濡れる山内の参詣  
者を迎えた。  
7月25日、28日、京都総本山妙満  
寺を会場に、顕本青少年錬成会が開  
催された。全国より応募した小学生  
から中・高校生を対象に、「助け合っ  
た心」をメインテーマに定め、信行か  
らリクレーションまでバラエティ  
に富んだ内容の錬成に励んだ。

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮聖人門下連合会**

本会は日蓮聖人の理想を実現  
するため、祖廟を中心として門  
下各派及び教団並びに地方門  
下連合会の連絡、協力、団結を  
強化することを目的とする。  
●事業  
本会は前案の目的を達成する  
ため、左の事業を行う。  
1、祖廟護持の組織強化  
2、教育事業の提携  
3、布教の連合強化  
4、懇談会・研究会・講演会等の  
開催  
5、各種出版物の刊行  
6、海外布教の提携及び交流  
7、対外的な各種の運動  
8、その他  
●加盟団体  
日蓮宗 法華宗本門流  
顕本法華宗 法華宗陣門流  
本門佛立宗 日蓮本宗  
法華宗真門流 本門法華宗  
国柱会 日本山妙法寺  
京都門下連合会

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

五十六年の御報恩法要が、本山要法  
寺に於いて、全国教師約四十名の出  
仕のもと、厳肅に奉修された。この  
日は三名の幹部が初転法輪の儀式を  
行い、新たな教師が誕生した。  
立教開宗七五〇年記念事業委員会  
が発足し、宝蔵の新築と各種出版事  
業が承認され、全国末寺の檀信徒か  
らの勧募が始まった。宝蔵は鉄筋コ  
ンクリート二階建てで、現在京都国  
立博物館に寄託されている重要文化  
財「渡金蓮唐草透刻経筒」が収蔵可  
能な設計となっている。  
(柳下正則)

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

先日、我が信  
徒から「こ近  
年青少年のキレ  
ル言動、オウム  
をはじめとした  
ライフスペース  
などと言われ  
のわからないオ  
カルト宗教の進  
出等々による世  
の中の乱れの原因は、宗派を問  
わずボウサンに責任がある。ボ  
ウサンがもっとしっかりしてい  
ればこんな世の中にならなかつ  
たんじやないか、最近のボウサ  
ンは楽をしすぎている。葬儀や  
法事だけでなくもっと生きた人  
間を救ってほしい」と苦言を投  
げかけられた。  
確かに我々は今、寺檀制度と  
いうものに守られているが、こ  
の制度がそろそろ崩れかけてき  
ているのも現実である。もしこ  
の世に日蓮大聖人がおられたら  
我々にどのような言葉を授けて  
いただけたらだろうか?  
各門下とも平成十四年の開宗  
七五〇年に向け、さまざまなス  
ローガンを打ち出し事業を展開  
している。宗門内での七五〇も  
必要であるが、建長五年四月二  
十八日宗祖がどのような気持ち  
で開宗を宣言されたのか、旭が  
森で初めて唱えられた「南無妙  
法蓮華経」の思いに立ち返り、  
「末代の人々の救済」を文面上で  
なく実行に移すことが、各門下  
共通の内面においての七五〇で  
はないだろうか。  
(善)

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百

**日蓮本宗**

2月6日より  
一泊二日の日程  
で、教師研修会が伊豆長岡ホテルで  
開催された。全国から三十四名の教  
師が参加し、一日目は蓮慶寺の参拝、  
執事より伊豆伊東の法難についての  
講義を聴講した。二日目は富士北山  
本門寺に於いて、日興上人御正當御  
報恩法要に参列した。  
5月8日、御開山日尊上人第六百